

きめ細かくニーズに対応

【茨城】「現在の配置車両は平ボディー車中心で、全て荷主専属。なるべく早



福岡ロジテック関東営業所所長

関屋 雄一さん

い時期にフリーで動ける車両を増やし、保管施設の活用と併せてきめ細かくニーズに添えていきたい」と話

すのは、福岡ロジテック川市に最初の関東営業所を（永山浩二社長、福岡県宇美町）の関東営業所（茨城県ひたちなか市）の関屋雄一所長（50）。
同社では以前から関東方面への輸送が多かった。一方、帰り荷は取扱事業者に委ねており、輸送の効率化や運賃収入確保などの観点から関東エリアの営業拠点設置が急務となっていた。

関屋氏は2007年9月に単身で上京し、千葉県井の

り、事務机も暴れ出した。揺れが収まって屋外に避難したが、直後の大きな余震では目の前に地割れが発生し、地中に埋められていた



水道管が飛び出してきた。近くの3階建てのビルは、一階がつぶれていた」

「ちょうど荷主と仕事の電話をしていた時だった。揺れが一向に収まらず、天井の非常灯が落下してきた福岡まで自家用車を走らせ

フリー車両拡大めざす

た。「茨城から離れるにつれ、町は平穏を取り戻していたのが印象的だった。被災地の物資不足のため、九州でも乾電池などは品薄になっていったが、それでもいつもの日常と変わらない生活を送っていた」と当時を振り返る。

東京都台東区に生まれ、福岡県北九州市若松区で育った。「（関東進出は）不安はあったが、何とかなるだろう、という確信もあった。何もかも一からのスタート。精一杯、頑張りたい」と意欲をみせる。

（小瀬川 厚）

とくろく 関東

東京支局

TEL 03(32221)2345
FAX 03(32221)2348